

第29号

発行日 平成28年7月4日

発行元 みやぎっ子ルルブル

推進会議事務局

(宮城県教育庁教育企画室)

TEL(022)211-3616



ルルブル通信

外遊びで規則正しい生活リズム



注) 熊本県教育委員会「子どもの遊び実態調査報告書」2008年をもとに作成。

外遊びが多い子どもは、テレビを見て過ごすことが多い子どもより、**就寝時刻が早い傾向**を示しています。また、起床時刻が早く、朝は自分で起きることができ、**毎日朝食をとる傾向が高い**ことも分かっています。

体を思い切り動かし、使った分のエネルギーを休養や栄養で充電することが、規則正しい生活に結びつきます。

全身を使って遊ぶことは、**体力の向上**だけでなく、**心の健康**やその発達にも好影響をもたらします。

ご家庭では、できるだけ外で元気に遊ばせましょう。

ただし、夏の外遊びの際は、帽子を身につけ、水分補給や休憩も忘れずに。



ルルブル・エコチャレンジ事業を実施します



平成26年度から実施し、昨年度は約23,300人が取り組んだ「ルルブル挑戦事業」を、今年度は「ルルブル・エコチャレンジ事業」として実施します。

県内の年少・年中・年長児及び小学校1・2年生を対象に、「ルルブル・エコチャレンジポスター」を使って4週間、「寝る」「食べる」「遊ぶ」ができれば、ポスターにシールを貼っていく取組です。取組後、報告に基づき各幼稚園・保育所・小学校に、ルルブル・エコチャレンジ認定証を送ります。

ルルブルの実践は、夜に使う照明やテレビの使用時間を減らせるなど、**結果的にエコにもつながります。**

このチャレンジをきっかけに日頃の生活を見直し、早寝早起き朝ごはんや外遊びを、毎日の習慣にしていきましょう！

小学生ルルブルポスターコンクールを実施します

ルルブルを普及啓発する取組の一つとして、県内小学校の児童を対象に実施している「ルルブルポスターコンクール」も、3年目になりました。

「しっかり寝ル」「きちんと食ベル」「よく遊ブ」の3つのテーマで、上学年(4~6年生)、下学年(1~3年生)、特別支援学校・特別支援学級の部門ごとに作品を募集しています。

入賞者には賞状及び記念品が授与されるとともに、金賞受賞作品はポスターカレンダーに掲載されます。また入賞作品は、11月に県庁1階ロビーに展示予定です。応募方法など、詳しくは教育企画室のウェブページをご覧ください。

URL: <http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>



劇団やキャラバン隊が訪問します！

～みやぎっ子ルルブル紙芝居演劇～

平成24年度から、県内100か所以上で上演し、親子がハラハラドキドキしながら、奇想天外な冒険活劇を観ることで、早寝早起き朝ごはんの大切さを学ぶことができる紙芝居演劇が今年も始まりました。

上演する「劇団仙台小劇場」の皆さんは、普段はそれぞれ別の仕事を持ちながら、子どもたちの笑顔と基本的な生活習慣の大切さを伝えるために集結し、毎回熱演しています。

今年は県内20か所の幼稚園、保育所などで上演を予定しています。



【紙芝居演劇を観た団体の感想から（一部抜粋）】

迫真の演技に、みんな夢中です。

児童に分かりやすく、ユーモアたっぷりの内容で、いつのまにか子どもたちは、物語の中に引き込まれていたようです。保護者の皆さんも、興味深く熱心に鑑賞されていたようでした。

（小学校・仙台市）

会場への呼びかけに、普段はおとなしい子が合い言葉を答える場面があり、良い機会となりました。

（保育所・石巻市）

子どもたちから「早寝・早起き・朝ごはんが大事だということが分かった」という感想が多く聞かれ、ただ楽しんでいただけではなく、ルルブルについてしっかり学習していたことが分かりました。（小学校・登米市）

～ルルブルロックンロール♪教室～

新規事業



平成25年度に制作した「ルルブルロックンロール♪」の曲とダンスに合わせて親子で体を動かし、基本的な生活習慣の大切さを学ぶ「ルルブルロックンロール♪教室」を開催します。

7月下旬から、県内40か所に訪問予定です。

ルルブルロックンロール♪の曲とダンスを見るには、事務局のウェブページや、右のQRコードにアクセス！



あなたの学校・園・会社へ、出前講座に伺います！

「基本的な生活習慣の大切さについて、保護者に話をしてほしい」、「社員研修の1コマとして活用したい」。そんな声にお答えし、事務局（宮城県教育庁教育企画室）では、**出前講座を実施**しています。

これまでも、幼稚園、保育所、栄養士向けの研修会、企業研修など、様々な場で基本的な生活習慣の大切さなどについてお話ししてきました。

講師の派遣は無料ですので、日程※や内容など、お気軽にご相談ください。

※少なくとも、実施希望日の1か月以上前までにご連絡をお願いします。

お申し込みについて詳しくは、以下のウェブページをご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kohou/demae.html>



平成27年度 みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体 取組紹介①

昨年度、みやぎっ子ルルブル推進優良活動団体として17団体が表彰されました。
今回は県内の幼稚園・保育所の4園（所）をご紹介します。



登米市立北方幼稚園

～ 心身ともにたくましい幼児の育成 ～



取組の内容

集会を通して「はやね、はやおき、あさごはん」を奨励しているほか、二十日大根やサツマイモなどの野菜を栽培し、収穫物を材料としてカレーや豚汁などを作って、園児全員で会食しています。

また、「げんきっきタイム」は「みんなで運動遊びをする時間」と位置付け、取り組んでいます。

取組の成果

ほとんどの園児が朝食を食べて登園しているほか、野菜が苦手な園児も、幼稚園で収穫した野菜や給食の野菜を喜んで食べるようになっていきます。

また、外遊びを好む幼児が増え、より多くの幼児が喜んで体を動かして遊ぶようになり、できないことにも挑戦しようとする姿が見られるようになっていきます。

大崎市池月保育所

大崎市岩出山保育所

大崎市岩出山保育所真山分園

～ いきいき 笑顔あふれる“大崎っ子” ～

取組の内容

大崎市のご当地キャラ「パタ崎さん」と、“はやね・はやおき・あさごはん”のお約束を実施しているほか、基本的な生活習慣のパンフレットを利用し、個人面談の機会などで就寝時間などを個別に指導しています。

野菜を栽培し、収穫やクッキングをしているほか、給食室や給食展示の見学を実施しています。

また、栄養士会から絵本などを借用し、うんこダスマンの絵本の読み聞かせや、うんこダスマン体操をしています。

地域行事の「政宗公まつり」にて、保育所3施設合同で地域の伝統文化である「荒馬」を披露しています。

また、大崎市岩出山保育所では、地域のお茶の先生をお招きし、地域の菓子店に季節の菓子を作成してもらい、年に7回お茶会を実施しています。



取組の成果

親子で早く寝るように努力した様子がうかがえるようになり、食に関する意欲的な姿が見られ、「今度どんなクッキングするの?」「お母さんに作り方を教えてほしい」等の声が聞かれるようになりました。

また、うんこダスマンの絵本や体操に興味を持ち、毎日うんちする子が増えたり、家庭での声がけの協力が得られるようになりました。

子どもたちが色々な体験に対し、期待を持って取り組み、「またしたい」「お家でもしてみる」などの声が聞かれるようになったほか、地域の方々や祖父母に対してのやさしさや年上の子どもたちへのあこがれ、また、年下の子どもたちに手を差し伸べる姿等が見られるようになりました。



- みやぎっ子ルルブル推進会議では、会議の趣旨にご賛同いただける登録会員を募集しております。詳しくは、下記HP掲載の会議規約をご確認の上、[登録書様式](#)によりお申し込みください。
- ルルブルに関する取組事例や情報等がありましたら、下記までご連絡ください。



アニメおすび丸
宮城県・旭プロダクション

担当：みやぎっ子ルルブル推進会議事務局（宮城県教育庁教育企画室）
TEL：(022)211-3616 Email：kyoikupp@pref.miyagi.jp
URL：<http://www.pref.miyagi.jp/site/ruruburu/>



「学ぶ土台づくり」便り



宮城県では、ルルブル同様、社会総がかりで次世代を育てる幼児教育を展開するため、「学ぶ土台づくり」を進めています。今後、ルルブル通信を通して「学ぶ土台づくり」に関する情報についてもお伝えしていきます。

宮城県では、幼児期を生涯にわたる人間形成の基礎を築く時期、すなわち「学ぶ土台づくり」の時期ととらえ、平成23年3月に「学ぶ土台づくり」推進計画を策定し、県、市町村、教育・保育各関係機関等において計画に基づく各種事業や取組を実施してきました。

平成27年3月には、現在の第2期「学ぶ土台づくり」推進計画が策定され、引き続き**幼児教育の充実**に向けた様々な取組を行っています。



第2期「学ぶ土台づくり」
推進計画 概要版

ご存じですか？「学ぶ土台づくり」

県では、幼児教育に関するアンケートを実施し、幼児教育関係者や保護者の皆様から回答をいただいておりますが、残念ながら「学ぶ土台づくり」という言葉はあまり知られていません。

「学ぶ土台づくり」とは、幼児期を将来の自立のために必要となる**社会性**、**コミュニケーション能力**、**想像力**など様々な能力や態度の基礎を築く時期（生涯にわたる人間形成の基礎を築く時期）と捉え、**この時期の子どもの成長を促す幼児教育を表すもの**です。



Q & A 内容は？

第2期「学ぶ土台づくり」推進計画では、目指す子どもの姿を「**元気いっぱい 夢いっぱい 瞳かがやく “みやぎっ子”**」
～遊びや自然・人とのかかわりを通して、豊かな心をはぐくむ～とし、4つの目標を設定して、目指す子どもの姿の実現に向けて取り組んでいます。

- 目標1 親子間の愛着形成の促進
- 目標2 基本的な生活習慣の確立
- 目標3 豊かな体験活動による学びの促進
- 目標4 幼児教育の充実のための環境づくり



今回は、目標1について詳しくご紹介します。➡

学ぶ土台づくりミニ講座 第1弾!! 親子間の愛着形成の促進について

子どもの心が健全に発達していくためには、自分の存在を認め、それと同時に、他人からも認められているという自らの信頼感（自己肯定感）が必要です。

こうした自己肯定感は、乳幼児期において、保護者と子どもとの間で形成される愛着関係の中から獲得していくとされています。

愛着形成は、物事に積極的に関わろうとする姿勢にも大きな役割を果たします。



学ぶ土台づくり普及啓発事業 紹介

「圏域別親の学び研修会」

子育て（幼児教育）について学ぶ機会や、参加者同士が交流しながら新たな「気づき」を得る機会として、幼児を持つ親や幼児教育関係者等を対象に、7圏域毎に研修会を開催しています。

研修会では、子育て（幼児教育）に関する講演とともに、参加型学習プログラムの1つである宮城県版親の学びのプログラム「親のみちしるべ」を活用したグループワークなどを行っています。

今年度は、22回開催予定です。

詳しくは、教育企画室のホームページに掲載しています。

宮城県教育企画室

検索 🔍

幼稚園や小学校の先生方、生涯学習に携わる人などたくさん集まりました。



今年度、第1回目、気仙沼本吉公民館で行われた研修会の様子です。